



勝間田っ子

<http://gakuji.town.shoo.lg.jp/katsumada-es/letters-katsumada-es/>



2学期後半、スタート!

早いもので秋の深まりとともに2学期も折り返しを迎えました。秋の青空の下、休み時間には子どもたちの元気な声が運動場一杯に広がっています。

秋は、1年で一番過ごしやすい季節と言われています。その過ごしやすい季節、子どもたちにしっかりと目的を持たせながら、さらに充実した日々が過ごせるよう、職員一同、力を合わせながら努力していきます。2学期後半もよろしくお願いいたします。



参観日、お世話になりました

10月4日(火)の参観日には、お忙しい中にもかかわらず、多くの保護者の皆様にご出席をいただき、誠にありがとうございました。2学期最初の授業参観はいかがでしたでしょうか? 年度当初よりも、ずいぶん成長したお子様の姿を見ていただけたのではないかと思います。次回は、11月12日(土)に音楽発表会を、11月30日(水)には人権参観日を予定しています。



思い出に残った「修学旅行」

10月14日(金)、6年生が修学旅行に行ってきました。今年度も新型コロナウイルス感染防止対策のため、残念ながら宿泊は行わず、日帰りでの旅行となりました。コロナ禍になってからの2年間は、「境港・蒜山方面」でしたが、今年は6年生の強い希望で、「金刀比羅宮・レオマワールド」コースに決定! 『日帰りにはなってしまったけど、自分たちの旅行を自分たちの手で、楽しく思い出に残る最高の旅にしていこう!』ということで、児童自らが実行委員会を立ち上げ、何度も話し合いながら旅行の計画や準備を進めてきました。そして、旅行当日。すばらしい秋晴れの下、一人の欠席もなく全員そろって参加することができました。金刀比羅宮では、多くの階段を元気いっぱい駆け上がる子どもたちの姿に驚かされました。お昼には、香川名物の「うどん」をおいしくいただきました。レオマ・ワールドでは、乗り物に乗りながら笑顔いっぱい楽しんでいる6年生の姿がたくさん見られました。自分たちの手で創り上げた今回の修学旅行。小学校生活での最高の思い出となったことと思います。



修学旅行実行委員会



各班での計画づくり



全員集合!(レオマ・ワールド)

おいもをもらったよ!

10月20日(木)、勝間田高校の生徒のみなさんが育てて収穫してくださったサツマイモを、1年生がいただきにきました。本来であれば、高校生と一緒に5月ごろに苗を植え、10月に収穫させていただく予定でしたが、コロナウイルス感染防止のため、高校生と一緒に活動することが難しく、今年度は今回のような形となりました。勝間田高校との十分な交流はできませんでしたが、大きなおいもをたくさんいただいた1年生は大喜び! 勝間田高校の生徒のみなさん、ほんとうにありがとうございました。



しっかり学んだ「社会見学」

10月7日、11日、18日、21日に、それぞれの学年が社会見学に行ってきました。手の消毒やバスの中での会話の制限等、感染症対策を行いながらの実施でしたが、参加した子どもたちは、普段学校では体験できないことや見聞きできないことをしっかりと学習することができました。帰ってきた児童は、輝くような笑顔で口々に「楽しかった!」「とても勉強になった」と話してくれました。今回学んだことを、今後の学習等に活かして欲しいと願っています。



2年 津山まなびの鉄道館



3年 ドイツの森



4年 蒜山 大根畑



5年 三菱自動車

米作り体験(稲刈り)

今年度も、「勝央カープの会」の皆様のご厚意により、5年生が米作り体験をさせていただきました。5月の「田植え」に続いて、10月5日(水)には、「稲刈り」体験をさせていただきました。「稲を刈る人」「稲を束ねる人」「はで場に稲をかける人」の3グループに分かれて、交代しながら実施しました。ボランティアの方々のわかりやすく丁寧なご指導により、子どもたちは、安全に楽しく活動することができました。また、10月14日(金)には、脱穀の様子も見学させていただきました。

「勝央カープの会」の方々をはじめ関係者の皆様、お忙しい中、5年生のためにお時間を割いてくださり、ありがとうございました。



ベスト記録を目指して!

~校内陸上記録会~

10月19日(水)、校内陸上記録会を開催し、5・6年生が参加をしました。児童はこの日のために、体育の時間や放課後等に何度も練習を重ねてきました。当日の朝は少し肌寒い気候ではありましたが、参加した児童は、「1cmでも高く、遠くに!」「0.1秒でも速く!」を目指して、最後まで一生懸命に取り組むことができました。「やった!伸びた!」「自己ベストだ!」と喜ぶ児童の姿を何人も見る事ができ、とてもうれしく思いました。「あきらめずに努力すれば、結果につながる」ことを学ぶ、よい機会となったのではないかと思います。

